

令和6年度事業報告書

社会福祉法人 三豊市社会福祉協議会

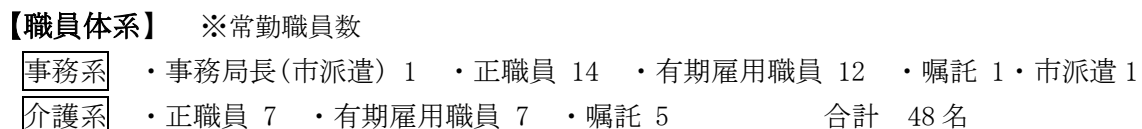
目 次

1. 法人運営事業	2	9. ファミリー・サポート・センター事業	35
		(1) ファミリー・サポート・センター事業	35
2. 地域福祉事業	6	(2) 子育てホームヘルプ事業	37
(1) 地域福祉活動推進事業	6	(3) 子育て世帯訪問支援事業	38
(2) 相談事業	8		
(3) 福祉バス管理運営事業	10	10. 居宅介護支援事業	38
(4) 認知症サポーター養成講座事業	10	(R7.1.31廃止)	
(5) 自発的活動支援事業(事業終了)	11		
(6) 生活支援体制整備事業	11	11. 訪問介護事業	40
(7) 三豊市こどもの居場所づくり事業	14	(1) 訪問介護事業	40
		(2) 生活支援訪問事業	41
3. 共同募金配分事業	15	(3) その他訪問事業	41
(1) ボランティア活動推進事業	15		
(2) 福祉普及啓発事業	18	12. 障害福祉サービス事業	43
(3) 居場所づくり推進事業	20	(1) 障害福祉サービス事業(居宅介護)	43
(4) 広報啓発事業	22	(2) 障害福祉サービス事業(行動援護)	43
(5) 社会福祉大会開催事業	22		
(6) 災害対策推進事業	23	13. 移動支援事業	43
(7) まるみプラン推進事業	25		
(8) 地域我が事・丸ごと推進事業	27	14. 高齢者デイサービスセンター事業	44
(9) 地域活動応援事業(R6.4～開始)	27		
		15. 生活支援通所事業	44
4. 生活福祉資金貸付事業	28		
		16. 地域移動支援事業	45
5. 福祉サービス利用援助事業	29	(R7.3.31 社団法人みとよ交通システム 事業団 MiLAISへ移管)	
6. 法人成年後見等事業	30	17. その他事業	45
(1) 法人成年後見等事業	30	(1) 老人クラブ連合会	45
(2) 市民後見人養成支援事業	31	(2) 共同募金事業	47
		(3) 子育てボランティアみみちゃん	50
7. 生計困難者に対する相談支援事業	32	(4) フードバンク(ものバンク)事業	50
		(5) NPO法人後見ネットかがわへの協力	50
8. 生活困窮者自立支援事業	33		
(1) 生活困窮者自立相談支援事業	33		
(2) 子どもの学習支援事業	33		
(3) 家計改善支援事業	34		
(4) 就労準備支援事業	34		

三豊市社会福祉協議会は、市民が住み慣れた地域でみんなが助け合い、一緒に支え合うことのできる暮らしやすい地域づくりをめざし、『くらし・こころ・みらい「豊かなまちづくり」』を基本理念に、地域の皆さま、行政、福祉関係者等と連携しつつ各事業の取り組みを進めてきました。

以下、令和6年度の具体的な事業実績等について報告します。

(令和7年3月31日現在)



1. 法人運営事業 事業費 87,882,393円

① 理事会・評議員会等の開催

<理事会>

開 催 日	議 事 等
第 86 回 令和 6 年 6 月 11 日 出席 理事 6 人 監事 2 人 欠席 理事 4 人 欠員 理事 1 人	報告第 1 号 会長専決事項について 議案第 1 号 令和 5 年度事業報告について 議案第 2 号 令和 5 年度収支決算について 議案第 3 号 令和 6 年度第 1 次資金収支補正予算について 議案第 4 号 職員給与支給規程の一部改正について 議案第 5 号 評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案第 6 号 役員(理事)候補者の選定について 議案第 7 号 第 71 回評議員会(定時評議員会)の招集について
第 87 回 9 月 26 日 出席 理事 9 人 監事 2 人 欠席 理事 2 人	報告第 1 号 会長専決事項について 報告第 2 号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第 1 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 2 号 令和 6 年度第 2 次資金収支補正予算について 議案第 3 号 居宅介護支援事業の休止について 議案第 4 号 第 72 回評議員会の招集について
第 88 回 12 月 13 日 出席 理事 10 人 監事 1 人 欠席 理事 1 人 監事 1 人	報告第 1 号 令和 6 年度第 3 次資金収支補正予算について 議案第 1 号 居宅介護支援事業の廃止について 議案第 2 号 第 73 回評議員会の招集について
第 89 回 令和 7 年 3 月 11 日 出席 理事 10 人 監事 2 人 欠席 理事 1 人	報告第 1 号 会長専決事項について 報告第 2 号 会長及び常務理事の職務の執行状況について 議案第 1 号 令和 6 年度第 4 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 3 号 令和 7 年度事業計画について 議案第 4 号 令和 7 年度資金収支予算について 議案第 5 号 諸規程等の一部改正について 議案第 6 号 グループウェアサーバー及びパソコン機器の更新契約について 議案第 7 号 役員等賠償責任保険の契約について 議案第 8 号 地域移動支援事業の移管について 議案第 9 号 第 74 回評議員会の招集について
第 90 回 3 月 31 日 書面決議 理事 11 人 監事 2 人	議案第 1 号 事務局長の選任について

<評議員会>

開 催 日	議 事 等
第 71 回 令和 6 年 6 月 28 日 出席 評議員 12 人 監事 2 人 欠席 評議員 3 人 欠員 評議員 1 人	議案第 1 号 令和 5 年度事業報告について 議案第 2 号 令和 5 年度収支決算について 議案第 3 号 令和 6 年度第 1 次資金収支補正予算について 議案第 4 号 職員給与支給規程の一部改正について 議案第 5 号 役員(理事)の選任について
第 72 回 10 月 4 日 出席 評議員 14 人 監事 2 人 欠席 評議員 1 人	議案第 1 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 2 号 令和 6 年度第 2 次資金収支補正予算について 議案第 3 号 居宅介護支援事業所の休止について
第 73 回 12 月 23 日 出席 評議員 14 人 監事 2 人 欠席 評議員 1 人	議案第 1 号 令和 6 年度第 3 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 居宅介護支援事業所の廃止について
第 74 回 令和 7 年 3 月 21 日 出席 評議員 11 人 監事 2 人 欠席 評議員 4 人	議案第 1 号 令和 6 年度第 4 次資金収支補正予算について 議案第 2 号 合併受入時積立金の取り崩しについて 議案第 3 号 令和 7 年度事業計画について 議案第 4 号 令和 7 年度資金収支予算について 議案第 5 号 諸規程等の一部改正について 議案第 6 号 グループウェアサーバー及びパソコン機器の更新契約について 議案第 7 号 地域移動支援事業の移管について

<監事会>

開 催 日	議 事 等
令和 6 年 5 月 27 日 出席 会長・監事 2 人	令和 5 年度事業報告について 令和 5 年度収支決算について

<評議員選任・解任委員会>

開 催 日	議 事 等
なし	

② 役職員等研修会

役職員等が、三豊市社協は具体的に「どのような地域を目指しているのか」また、そのために「事業・活動等をどのように進めていくのか」、といった組織の使命やビジョンを改めて確認するとともに、これらの共通理解をもって日々の業務・実践にあたることが重要なことから、県社協等が開催する研修会等に参加した。

開催日等	内容等
令和6年5月9日 常務理事	令和6年度香川県内社会福祉協議会連絡協議会理事会(高松市)
令和6年9月20日 常務理事	遺贈協定締結式・令和6年度第1回市町社会福祉協議会常務理事・事務局長等会議(高松市)
令和6年11月7日 常務理事・理事1名	令和6年度社協トップセミナー(高松市) (県内社協役員研修会)
令和6年11月8日 常務理事	令和6年度第13回県内社協常務理事・事務局長等セミナー(高松市)
令和6年11月25日 常務理事・職員25名	令和6年度災害時の協働・連携体制強化研修【西讃ブロック】 ～災害ボランティア受入体制強化研修～(三豊市)
令和6年12月12日 常務理事	令和6年度福祉人材確保採用力向上セミナー(高松市)
令和7年1月9～10日 常務理事・職員5名	四国ブロック市町村社会福祉協議会研究協議会(高松市)
令和7年2月5日 常務理事・職員4名	令和6年度香川おもいやりネットワーク事業総括セミナー (令和6年度第3回社会福祉連携協働セミナー)(高松市)
令和7年2月21日 常務理事	2024年度第8回香川県隣保館関係職員研修会(観音寺市)
令和6年4月26日 ～令和7年2月14日 職員2名	令和6年度社協職員基礎研修Ⅰ(全4回)(高松市)
令和6年7月17日 職員4名	社会福祉協議会基本要項2025に関する勉強会(高松市)
令和7年1月24日 職員10名	香川県内社会福祉協議会実践研究大会(高松市) (オンライン9名、発表1名)

③ 自主財源の確保

(ア) 会員の募集

市内全域及び地区の福祉活動の推進のため、会費の納入について協力を自治会長等をお願いした。

- ・一般会費(一口 500円)
令和6年度 16,766戸 8,371,930円
(令和5年度 16,842戸 8,424,330円)
- ・賛助会費(2,000円以上)
令和6年度 40件 242,000円
(令和5年度 41件 240,000円)

※一般会費と賛助会費合計 8,613,930円

<一般会費内訳>

地区	戸数	実績額	地区	戸数	実績額
高瀬	3,778	1,889,000	詫間	3,747	1,872,180
山本	1,729	864,500	仁尾	1,548	764,250

三野	2, 296	1, 148, 000	財田	1, 004	502, 000
豊中	2, 664	1, 332, 000	市外	0	0
			合計	16, 766	8, 371, 930

(イ) 社会福祉事業への香典返し等（寄附金・物品寄附）

寄附者の意に沿うよう「地区社協」の活動助成を行う等、地域福祉に関係する活動を支援した。

< 寄附の内訳 >

※（ ）内は前年度末

項 目	件 数	金 額
寄附金	23 (25)	3, 608, 483 (1, 374, 437)
物品寄附（車イス）	1 (1)	30, 000 (30, 000)
合 計	24 (26)	3, 638, 483 (1, 404, 437)

④ 地区社協への助成

地区社協の地域福祉活動に対し助成金を交付した。

< 各地区社協の状況 >

24 地区社協 助成金総額 6, 057, 000 円

地区	地区社協	設立年月	主な活動内容
高瀬	勝間	S53. 4	元気会、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、暑中見舞い・年賀状配布、福祉用備品設置等
	上高瀬	S46. 4	元気会、男性クッキング、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、福祉用備品設置等
	二ノ宮	S53. 4	元気会、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、年賀状配布、小学生による友愛訪問等
	比地二	S53. 4	元気会、男性クッキング、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、暑中見舞い・年賀状配布、福祉用備品設置等
	麻	S47. 4	元気会(内容を変更して実施)、男性クッキング、高齢者訪問、学校等の情報交換会、世代間交流、暑中見舞い・年賀状配布、福祉用備品設置等
山本	辻	H19. 3	ぼだい山登山、防災研修、敬老会、高齢者等訪問、しめ縄作り、交通安全教室、奉仕活動、ウォーキング、地区社協だより等
	河内	H19. 3	ふれあい交流活動、健康ウォーキング、自主防と共催での研修活動、敬老会、高齢者等訪問、地区社協だより等
	財田大野	H19. 3	三世代交流活動、ウォーキング、防災講習、寄せ植え、凧揚げ大会、敬老会、高齢者等訪問、知行寺山実態調査、ミニ門松作り、地区社協だより等
	神田	H19. 3	役員研修旅行、秋の野山を歩こう、立石山登山、男性料理講習、ウォーキング(宝山湖・お花見)、敬老会、高齢者訪問、自主防災講演会、地区社協だより等

三野	下高瀬	H18. 4	子ども・高齢者対象交流事業、サロン支援、防災、見守り活動、下小モーニング、三野地区まるみプラン活動等
	吉津	H18. 4	子ども・高齢者対象交流事業、サロン支援、防災、見守り活動、三野地区まるみプラン活動等
	大見	H18. 4	子ども・高齢者対象交流事業、サロン支援、防災、見守り活動、三野地区まるみプラン活動等
豊中	桑山	H17. 12	高齢者訪問、施設訪問、まるみウォーキング運営支援、子ども見守り隊活動等
	比地大	H17. 8	安全パトロール、ひとり暮らし高齢者等訪問、サロン支援、まるみウォーキング運営支援、福祉だより発行等
	笠田	H18. 2	地域づくり講演会、ひとり暮らし高齢者訪問、まるみウォーキング運営支援等
	上高野	H18. 5	配食サービス、福祉推進月例会、まるみウォーキング運営支援、歩いてみよう会(防災訓練等)ちくわだより発行等
	本山	H17. 8	友愛訪問、高齢者訪問、敬老会、まるみウォーキング運営支援等
詫間	松崎	H21. 1	見守り活動、ふれあい会食、サロン支援、地区史編さん作業、里山ハイキング、敬老会(訪問・安否確認)、たくま分散ウォーキング協力等
	詫間	S42. 3	敬老会(訪問・安否確認)、たくま分散ウォーキング協力、防災フェスタ協力等
	大浜	S42. 3	敬老会(訪問・安否確認)、たくま分散ウォーキング協力等
	箱浦	H21. 4	敬老会(訪問・安否確認)、たくま分散ウォーキング協力、海浜清掃活動協力等
	栗島・志々島	S42. 3	敬老会(訪問・安否確認)、たくま分散ウォーキング協力、防災フェスタ協力、海浜清掃活動協力等
仁尾	仁尾	H18. 6	敬老会(訪問・安否確認)、福祉ポスター募集・展示、サロン支援、見守り活動、三世代交流ペタンク会場環境整備(地区地域福祉活動計画実行委員会応援)
財田	財田	H18. 11	高齢者配食サービス(おはぎ、弁当) 役員研修、高齢者と年賀状交流(小学生に依頼)

2. 地域福祉事業 事業費 9, 369, 417円

(1) 地域福祉活動推進事業 事業費 2, 192, 387円

① 福祉協力員の設置支援

小地域福祉活動の活性化や援助活動等の担い手である福祉協力員等を設置している 6 地区社協に対し、要綱に基づき助成金を交付した。

＜助成状況＞

地区（設置地区社協）	人 数	助成額	活動内容
高瀬地区			
麻地区社協	6	12,000	地域の見守り 元気会やサロンの補助等
二ノ宮地区社協	7	14,000	
上高瀬地区社協	9	18,000	
勝間地区社協	11	22,000	
比地二地区社協	8	16,000	
豊中地区			
上高野地区社協	45	90,000	地域の見守り サロンの補助等
合 計	86	172,000	

② こんにちはコール

ひとり暮らし高齢者等に、電話訪問員(ボランティア)が電話を通じて話を聴くことで、安否の確認と孤独感の緩和を図るとともに、民生委員・児童委員等と連携をとりながら見守り活動の充実を図ることを目的に実施した。

○実施内容

月 2 回(第 2・4 水曜)ボランティアゆうゆうの会により本所(山本)にて実施

月 2 回(第 1・3 水曜)民生委員・児童委員により財田にて実施

○利用者数 ゆうゆうの会 9 人、財田地区 3 人 計 12 人

③ 緊急医療情報キット(まるみちゃん安心キット)の設置

緊急医療情報キットの設置は、主にひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、障がいのある人などを対象に、緊急時に迅速な救急活動を円滑に行うため、かかりつけ医・薬剤情報・緊急連絡先などを記入した書類を容器(キット)に入れて保管しておき、緊急時に役立てることを目的に実施した。

民生委員・児童委員の協力により新たに必要とする方へ設置し、併せて年 1 回(年度始め)の更新を実施した。また、消防署より年度内の安心キット活用事例について情報提供を頂き、普及啓発に努めた。

＜キット設置状況＞

地区		高瀬	山本	三野	豊中	詫間	仁尾	財田	合計
区分	①	9	2	5	2	10	5	0	33
	②	2	2	0	2	12	2	0	20
	③	1	0	0	0	1	0	0	2
	④	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤	0	0	0	0	0	0	0	0
年度内設置計		12	4	5	4	23	7	0	55
年度末設置世帯		98	62	54	52	175	99	34	574
年度末登録人数		106	65	95	62	207	112	42	689

- 【区分】 ① 65 歳以上の者のひとり暮らし世帯
 ② 65 歳以上の者のみで構成されている世帯(高齢者世帯)
 ③ 65 歳以上の者が含まれる世帯(高齢者同居世帯)
 ④ 障がいのあるひとり暮らし世帯
 ⑤ その他

④ 福祉器具貸出

車イス：年度末現在 91 台所有

(内、市民への貸出可能台数 62 台、施設等常設 20 台、デイサービス専用 9 台)

＜車イス貸出件数＞

高瀬地区	34	詫間地区	25
山本地区	14	仁尾地区	6
三野地区	10	財田地区	6
豊中地区	14	合 計	109

・その他、高齢者疑似体験セット、歩行器、スロープ、松葉杖の貸出を実施した。

⑤ チャイルドシート・ジュニアシート、ベビーバス貸出

乳幼児の保護者等に、チャイルドシート等を貸出することにより、乳幼児の健全な成長を支援するとともに、子育て中の保護者等(里帰り・帰省時)に係る経済的な負担や、乳幼児交通事故防止、交通事故被害者の軽減を図ることを目的に実施した。

＜月別利用者数＞

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
シート	12	6	5	16	8	6	5	5	14	5	9	15	106
ベビーバス	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	5

⑥ 実習生受入事業

社会福祉士養成校より実習生 1 人を受入れ、令和 6 年 5 月 20 日～令和 6 年 7 月 29 日のうち 26 日間、ソーシャルワーク実習を行った。

(2) 相談事業 事業費 1, 6 5 4, 6 1 1 円

地域住民の生活課題の解決に向け、日常生活に関する悩みや問題に対する「心配ごと相談」、法律に関する「法律相談」及び「社協電話相談」を開催した。

① 心配ごと相談

生活課題を早期発見することを目的として、民生委員・児童委員が地域住民の相談に応じ、必要に応じて各支援機関や専門員と連携を図った。

前回の事業見直しから 5 年が経過し、各地区民生委員・児童委員会長と次年度以降の本事業について協議した結果、相談状況を鑑みて今年度をもって事業終了することとなった。

次年度以降は社協にて常時相談対応し、必要に応じて民生委員・児童委員等とも情報共有することとした。

＜相談状況等＞ 相談：各支所毎月１回(第３水曜日)開催

地区	相談件数	相談分類計※	主な相談内容
高瀬	5	11	その他（詐欺、固定資産税、野良猫、話し相手、膝痛）
山本	5	5	苦情
三野	3	2	家族
豊中	1	1	障害児（者）福祉
詫間	4	1	財産
仁尾	0	1	健康・保健衛生
財田	1	21	合 計
合計	19		

※相談分累計は、相談内容ごとの集計にて相談件数と一致しない。

② 法律相談

地域住民が日常生活における問題・紛争等の解決に、法律の知識を要するものについて、香川弁護士会と連携し、弁護士による指導及び助言を得ることができる場を設けた。

＜相談状況等＞ 相談：毎月３回(第１・２・３火曜日)開催

地区	相談件数	相談分類計※	主な相談内容
高瀬	24	56	財産（相続・相続放棄・遺言）
山本	22	33	その他（土地の境界、自治会のトラブル、近所とのトラブル）
三野	25	26	人権・法律
豊中	19	18	家族
詫間	24	17	結婚・離婚
仁尾	24	11	事故（交通事故・損害保険）
財田	21	5	住宅
合計	159	4	医療
		2	生計
		1	職業・生業
		1	子育て
		1	母子・父子保健
		1	高齢者福祉
		176	合 計

※相談分累計は、相談内容ごとの集計にて相談件数と一致しない。

（３）福祉バス管理運営事業 事業費 1, 2 5 5, 4 3 4 円

地域福祉の推進を図るため、社会福祉を目的とする事業の実施及び、社会福祉活動への住民参加のための援助を目的として福祉バスを運行した。

＜月別運行状況＞ 令和 7 年 3 月末現在 利用登録団体：130 団体 登録運転手 4 名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
運行回数	4	2	5	3	0	3	5	14	6	1	2	5	50
延利用者数	75	35	75	52	0	46	76	235	128	16	42	88	868

※福祉バス(平成 17 年 1 月登録：乗車定員 25 人)

(参考) R5 年度：運行回数 53 回、延べ利用人数 911 人

（４）認知症サポーター養成講座事業（三豊市受託事業）事業費 3 1, 0 0 0 円

地域で認知症についての正しい理解や接し方について、知識を深める取り組みとして、認知症サポーター養成講座事業を開催した。

小学校では、認知症に係る寸劇に児童や担任の先生も参加をお願いすることで、より認知症の理解を深めることができた。

＜養成講座＞ ※サポーター数は教師も含む

開催日	受講先	受講人数（サポーター数）
令和 6 年 6 月 13 日	上高瀬小学校 6 年 1 組	21
6 月 13 日	上高瀬小学校 6 年 2 組	21
6 月 17 日	本山小学校 5 年生	22
6 月 24 日	山本小学校 5 年 1 組	29
6 月 24 日	山本小学校 5 年 2 組	29
6 月 25 日	詫間小学校 6 年松組	27
6 月 26 日	詫間小学校 6 年梅組	27
6 月 26 日	詫間小学校 6 年竹組	27
6 月 27 日	笠田小学校 6 年生	20
7 月 3 日	麻小学校 6 年生	21
9 月 24 日	下高瀬小学校 6 年生	27
9 月 26 日	勝間小学校 5 年生	36
10 月 1 日	吉津小学校 5 年生	22
10 月 4 日	松崎小学校 6 年生	15
10 月 7 日	財田小学校 5 年生	27
10 月 25 日	比地大小学校 5 年生	22
11 月 22 日	桑山小学校 5 年生	16
令和 7 年 1 月 10 日	笠田小学校 4 年生	18
小学校：18 回（13 校）		合計 427

(5) 自発的活動支援事業 (三豊市受託事業) 事業終了

令和6年度、所管課において事業終了が決定となり、事業受託なし。

(6) 生活支援体制整備事業 (三豊市受託事業) 事業費 1,821,496円

介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な実施のため、高齢者の困りごとを解決していくことや、子ども、障がいのある人も含め福祉制度の分野にかかわらず“支援を必要とする全ての住民が、よりよく暮らすために地域の支え合いのしくみづくり”を推進していくことを目的に実施した。また、この事業について職員間で共通認識を持つため、毎月定期的に地区担当職員(第2層生活支援コーディネーター)間で意見交換や協議を重ね、中学校区に計7地区の第2層協議体にて情報共有や協議を重ねている。

① 資源開発

介護予防ボランティア養成講座を実施した。

<介護予防ボランティア養成講座>

開催日／開催場所	内 容	受講人数
令和6年12月12日 13:00～16:15 市民センター仁尾会議室 (2F つたじま)	・三豊市における介護保険制度と認知症の現状とサービスBについて／講師：三豊市地域包括支援センター ・ボランティア活動のすすめと秘密保持について／講師：三豊市社会福祉協議会 ・清潔保持と健康管理及び活動中における緊急時の対応について／講師：三豊総合病院保健師	11

介護予防ボランティアフォローアップ講座を実施し、地域の担い手の確保と社会参加のきっかけ作りを行った。

<介護予防ボランティアフォローアップ講座>

開催日／開催場所	内 容	受講人数
【北部会場】 令和7年2月20日 市民センター仁尾2F 多目的ホール	・ボランティア活動にも活かせる認知症予防体操のすすめ 講師：古市敬子氏	16
【南・中部会場】 令和7年2月26日 市民交流センター	同上	16
合 計	2カ所	32

② ネットワークづくり

日常生活圏域において、多様な日常生活上の生活体制の充実・強化及び高齢者等の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的に、各地域の住民等による情報共有・話し合いを行った。

各地区にて地区担当職員(第2層生活支援コーディネーター)が情報共有や話し合いの推進を行った。

＜第2層協議体＞

地区・協議体名	開催日	参加人数	合計
高瀬地区協議体 「朝日の会」	令和6年4月10日	5	56
	5月14日	6	
	6月19日	6	
	7月25日	6	
	9月25日	6	
	10月31日	4	
	11月20日	5	
	令和7年1月22日	6	
	2月19日	6	
	3月19日	6	
山本地区協議体 「どんぐりの会」	令和6年4月8日	10	122
	5月13日	12	
	6月3日	10	
	7月1日	9	
	8月5日	9	
	9月2日	11	
	10月7日	10	
	11月18日	11	
	12月3日	9	
	令和7年1月6日	11	
	2月3日	10	
	3月3日	10	
三野地区協議体	令和6年4月22日	4	
	4月25日	3	
	5月7日	4	
	6月4日	4	
	6月13日	12	
	7月18日	10	
	7月20日	24	
	8月8日	25	
	8月21日	16	
	8月23日	13	
	9月1日	40	
	10月2日	20	
	11月26日	17	
	12月9日	5	

	12 月 11 日	20	346
	令和 7 年 1 月 9 日	20	
	1 月 26 日	65	
	2 月 25 日	13	
	2 月 28 日	17	
	3 月 10 日	14	
豊中地区協議体 「とよなかタイム」	令和 6 年 6 月 11 日	16	68
	6 月 25 日	5	
	9 月 19 日	5	
	10 月 29 日	14	
	11 月 23 日	22	
	令和 7 年 1 月 30 日	6	
詫間地区協議体	令和 6 年 4 月 24 日	7	79
	5 月 22 日	8	
	6 月 26 日	9	
	7 月 24 日	8	
	8 月 28 日	8	
	10 月 30 日	5	
	11 月 27 日	5	
	12 月 25 日	7	
	令和 7 年 1 月 21 日	9	
	2 月 26 日	5	
	3 月 26 日	8	
仁尾地区協議体 「ふれあいおしゃべり会」 ※10 月よりメンバーの意見から名称 がついた	令和 6 年 6 月 28 日	10	105
	7 月 30 日	8	
	8 月 22 日	11	
	9 月 30 日	12	
	10 月 30 日	12	
	11 月 22 日	9	
	12 月 16 日	12	
	令和 7 年 1 月 31 日	9	
	2 月 28 日	12	
	3 月 28 日	10	
財田地区協議体 「もっこくの会」	令和 6 年 4 月 18 日	5	68
	5 月 16 日	4	
	6 月 20 日	5	
	7 月 19 日	14	
	8 月 23 日	17	
	9 月 13 日	23	

(延 844)

<地区担当者会>毎月1回 12回開催

開催日	
令和6年 4月1日	10月2日
5月1日	11月1日
6月3日	12月2日
7月2日	令和7年 1月6日
8月1日	2月3日
9月2日	3月3日

(7) 三豊市こどもの居場所づくり事業（三豊市受託事業）

事業費 2,414,489円

市内のこども食堂やその他、こどもの居場所づくりに関わる団体等とのネットワークを構築し、横のつながりによる活動の広がりや情報共有を深めるためネットワーク会議を実施した。また、継続的な事業となるよう、随時相談・支援活動の実施、こども食堂等の活動に必要な食材の提供や、情報の共有を図るとともに助成金の交付を行った。

<事業内容>

① こどもの居場所づくりに関わる団体への相談・支援活動内容		活動件数
相談・支援 活動の状況	相談・支援窓口の設置	157件 ※内相談数 72件 ※その他対応数 85件
	こどもの居場所づくり専用ホームページの運営	随時
	食材、物品提供の分配	321
	助成金、研修会等情報提供	91
	合計	569
	助成金交付実績 9団体	合計 1,080,000円

② ネットワーク会議の会員向け勉強会(交流会)の開催

	ネットワーク会議	開催日	内容 / 講師	参加数
開催状況	三豊市こどもの居場所づくりネットワーク会議	9/5(木)	手作り昔遊び/講師:かぐや姫 プレイパーク竹森康彦氏 (豊中庁舎4階 健診ホール)	25人
		11/7(木)	エコわみらい工房見学、ワーク ショップ、事業説明 (株)松本光春商店丸亀工場)	6人
		1/30(木)	児童発達支援センターでいじい 視察、事業紹介 (児童発達支援センターでいじい)	5人

(延 36 人)

③ 農業生産者、小売り業者等提供活動者との連携

マッチング・協議件数	(株)OFA、YATA 農園、(株)四国日清食品、(株)フードテック、(株)松本光春商店、東洋炭素(株)詫間事業所、個人ボランティア 他		85 件
登録会員数 令和 7 年 3 月	運営会員	団体 15	延 35 件
	応援会員	個人 7、団体 13	

④ その他

情報提供	発行物：広報紙(社協しちふく) ホームページへの掲載 (社協内専用ホームページ・全国こども食堂支援センター・むすびえ)		
フードドライブ	通年実施中のフードドライブにおいて、市内 4 店舗ファミリーマート並びにゆめタウンみとよ店にそれぞれ毎月 2 回職員が食品回収に廻り、市内こどもの居場所への活用、子育て家庭への配布や食品配布会に、随時分配を行った。		
防災研修	昨年度実施の「こども食堂防災研修」のフォローアップとして開催された「こども食堂防災アドバイザー研修」に、市内こどもの居場所運営者と共に参加した。こどもの居場所が災害発生時に対応すべきこと、常に食材のストックがあることから、地域の拠点となりうるノウハウをもつことや、能登半島地震の際にこども食堂のネットワークが生かされ支援が広がったことを共有し、防災意識を高めた。		
金銭管理 ワークショップ	香川県子どもの未来応援ネットワーク事業金銭教育ワークショップ検討会メンバーとして、県教育関係者、金融機関、大学生、県内こどもの居場所団体等と、「こどもの金銭管理」について協議し作成したオリジナルのカードゲーム『キッズマネーゲーム』を活用した。 市内(三野町)で小学生を対象に、ボランティア団体と協働し、夏休み中の「子ども寺子屋」にて出前講座を行った。 また、市内中学校より資材活用申出を受け提供した。		

3. 共同募金配分事業 事業費 10,867,329 円

(1) ボランティア活動推進事業 事業費 669,809 円

ボランティア活動の推進や地域活動者の人材育成に向け、学生を対象とした「チャレンジボランティア講座」を実施した。初めての試みとして、三豊市社協の活動を広く市民に啓発するとともに、イベントや各種体験コーナーを通じて防災、福祉を身近に感じ、考えるきっかけづくりを目的に「社協ふくしフェスタ 2024」を開催した。また、ボランティア活動希望者へ紹介を行った。

<夏のチャレンジボランティア 2024> (対象：三観地区 5 高校・市内 7・市外 1 中学校)
参加実績 13 校 68 人(延 97 人参加)

	コース名（協力団体）	開催日	参加人数
1	音声訳ボランティア (みとよ音声訳の会「ぽかぽか」)	8/3(土)	3
2	こどもの居場所ボランティア・すまいる😊はうす (すまいる😊はうす)	8/3(土)	4
3	点字訳ボランティア (点訳サークル アイ・みとよ)	8/8(木)	5
4	こどもの居場所ボランティア・ふれあい食堂 (NPO 法人日和)	8/25(日)	3
5	夏休み宿題大作戦ボランティア (チャイルドハウスみとよ・三野地区まるみプラン 実行委員会・社協三野支所)	7/24(水)	8 ※一般ボラ 2
6	夏休み宿題大作戦ボランティア (チャイルドハウスみとよ・三野地区まるみプラン 実行委員会・社協三野支所)	7/31(水)	9 ※一般ボラ 2
7	三野こども祭りボランティア (みの元気塾・まちづくり推進隊三野・社協三野支 所)	7/28(日)	11
8	大見盆踊り大会ボランティア (公民館大見分館)	8/13(火)	5
9	そうめん流しボランティア (大見地区社会福祉協議会)	8/21(水)	5
10	高齢者配食見守りボランティア (みのむつみ会・PAS ボランティア・みの元気塾)	8/23(水)	4
11	100 円モーニングボランティア (ボランティアはなみずき)	7/24(水)	6
12	こどもの居場所ボランティア・こどもサニーハウス (NPO 法人子育て応援 NPO フレンズ)	7/31(水)	3
13	豊中読み聞かせボランティア (お話ボランティア夢ふうせん)	8/7(水)	2
14	ふれあい広場ボランティア (豊中町愛育会)	8/8(木)	5
15	こども食堂夏祭りボランティア・はびねすカフェ 夏祭り (たくまこども食堂 はびねすカフェ)	8/20(火)	6
16	こどもの居場所ボランティア・ひまわりるーむ (NPO 法人ひまわり)	7/29(月)	4
17	オレンジかふえボランティア (オレンジかふえなごみ)	8/16(金)	7
18	こすもす広場ボランティア (こすもす広場)	7/26(金)	7

<社協ふくしフェスタ 2024>

防災、福祉をテーマに様々な取り組みを行う企業、地域団体等と連携し実施することで、地域福祉の活性化につなげた。

来場者数：約 600 名

開 催 日	主 な 内 容	場 所
令和 6 年 12 月 1 日	【ステージ】 ・ 和太鼓演奏(和太鼓集団 響屋) ・ 防犯対策寸劇(三豊警察署) ・ 漫才・落語(二者面談・本読亭 魚之輔) ・ お楽しみ大抽選会 【屋内会場】 ・ 移動式プラネタリウム上映 (R&P 四国移動プラネタリウム) ・ 手作り防災グッズ展示・説明(防災士) ・ 液状化実験(下高瀬地区自主防災会有志) ・ メタバース説明・展示(市教育センター) ・ バーチャルお遍路さん体験(株エイデン) ・ ペット防災説明・展示(人とペットの防災ラボ) ・ 防災用品展示・説明(西村ジョイ高瀬店) ・ 福祉用具展示・試乗(株トーカイ) ・ 点字体験・点字用品展示 (点訳サークル アイ・みとよ) ・ 交通安全ドライブシミュレーター (一財)県交通安全協会) ・ 赤ちゃん・高齢者等災害用食品説明・展示 (四国明治株) ・ こども服リユース(まちづくり推進隊みの) ・ 防災クッキング・ワークショップ (市消防団女性部) ・ 防災食試食・展示(宝食品株) ・ 防災食試食・展示(讃岐罐詰株) ・ こども向け工作・出張登録 (みとよファミリー・サポート・センター) ・ こどもの居場所活動展示・フードドライブ (社協) ・ 介護相談・血圧測定(社協) ・ 社協展示・福祉体験(社協) 【屋外会場】 ・ キッチンカー/りんご飴他(Ring Ring) ・ キッチンカー/クレープ、ドリンク他 (さゆかふえ)	市総合体育館

	・キッチンカー/ピタサンド、ポテト、レモネード他(KAPARA) ・テント/唐揚げ、ポテト他(げんき亭) ・焼き芋(社会福祉法人 鶴足津福祉会 障害者支援施設 みとよ荘) ・野菜、果実、味噌、苗(県立笠田高等学校)	
--	--	--

<ボランティア活動保険加入状況>

※()内は前年度末

保険の種類	加入団体数・件数	加入数
ボランティア活動保険	68 団体(102)	1,555 人 (1,647)
	個人	6 人 (6)
行事用保険	78 件 (105)	4,645 人 (5,356)

(2) 福祉普及啓発事業 事業費 1,786,765円

① 福祉普及推進校(園)指定事業

市内の幼稚園児及び小学校児童や中学校生徒を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、「思いやり」「やさしさ」を養うとともに、地域と連携した福祉教育の推進を目指すことを目的とする取り組みに対し、要綱に基づき助成金を交付した。

<助成状況>

区 分	実施数	助成額(円)	主な事業内容
幼稚園	14 園	420,000	夕涼み会、地域との交流(餅つき大会、タケノコ掘り他)、施設訪問等
小学校	17 校	830,000	清掃活動、保幼小連携活動、高齢者福祉施設訪問、福祉体験学習、草刈ボランティア等
中学校	5 校	200,000	施設訪問、福祉コンサート、高齢者との交流、ふれあい看護体験等
高等学校	1 校	50,000	生徒が講師となり、保育所の子ども達と一緒に実験体験を行う
合 計	14 園 23 校	1,500,000	上限額：園 30,000 円/小・中・高 50,000 円

② 福祉体験学習への支援 (対象：市内小学校の主に5・6年生、中学生等)

子どもたちの福祉教育の一環として、主に市内小学校5・6年生を対象に福祉体験を実施した。担当教員と事前打合せ(体験をとおしたねらい、授業の進め方、体験後の福祉活動等についてのアドバイス等)を行った。

<体験内容>

体験内容	学校名など	延回数	延人数
高齢者等疑似体験	小学校（山本、詫間、本山、笠田、麻、比地、勝間、比地大、仁尾、下高瀬）中学校（詫間、豊中）、こども寺子屋(三野)	15	524
車イス体験	小学校（上高瀬、仁尾、山本、松崎、財田、比地、笠田、桑山、吉津）、こども寺子屋(三野)	10	180
視覚障がい体験 (アイマスク体験含む)	小学校（上高瀬、仁尾、山本、笠田、下高瀬、吉津）、こども寺子屋(三野)、	7	127
認知症サポーター養成講座	小学校（上高瀬、山本、詫間、松崎、財田、本山、笠田、麻、勝間、比地大、桑山、下高瀬、吉津）	18	371
EVAG 体験(香川高専向け/SDGs 目標 11 住み続けられるまちづくりを)	香川高専詫間キャンパス	1	126
防災教室	こども寺子屋(三野)	1	9
キッズマネープランゲーム	こども寺子屋(三野)	1	9
合 計		53	1,346

※バリアフリーやユニバーサルデザインについては、各体験内容のすべてに含む。

③ ふくし川柳募集

川柳の創作と作品を通して、社会福祉の啓発・意識向上、福祉の大切さを広く伝えるため、「ふくし川柳」の作品を募集した。

今回は中学生からも多数の参加があり、総数 349 件の応募があった。入賞者には賞状と副賞を贈呈、三豊市社会福祉大会にて入賞作品を紹介するとともに、社協広報紙『しちふく』やホームページに掲載した。

<小・中学生の部>

応募総数	受賞内訳（人）
330 件	最優秀賞 1
	優 秀 賞 2
	入 選 6

<一般の部>

応募総数	受賞内訳（人）
19 件	最優秀賞 1
	優 秀 賞 2
	入 選 2

④ ファミリーフォトコンテスト

家族や地域とのつながりを再確認し、絆を深めるきっかけ作りとしてファミリーフォトコンテストを行った。

また、地域の若い世代に社協の存在・活動への関心を深めることに努めた。

なお、手軽に応募できるようメールでの申込みとし、60件の応募があった。

作品は、社協広報紙『しちふく』やホームページに掲載するとともに公共施設にて展示した。

<審査結果>

応募総数	受賞内訳（人）
60 件	最優秀賞 1
	優 秀 賞 2
	入 選 17

（３）居場所づくり推進事業 事業費 2, 6 8 8, 9 9 0 円

ふれあい・いきいきサロン活動は、高齢者だけでなく、障がいのある人や子育て中の保護者、閉じこもり孤立しがちな人たちが、ボランティアである住民と共に地域の中で、いきいきと元気に生活できるつながりをもつ場（ふれあい・いきいきサロン）に対し、助成金を交付した。また、随時サロン新設等について相談対応を行った。

<高齢者サロン>

地区	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
高瀬	34	2	680	6, 075	561, 000
山本	12	0	165	2, 409	241, 000
三野	7	0	143	1, 367	147, 000
豊中	32	△2	454	4, 553	602, 000
詫間	11	0	264	3, 715	270, 000
仁尾	14	0	167	2, 489	263, 000
財田	5	0	93	665	75, 000
計	115	0	1, 966	21, 273	2, 159, 000

<子育てサロン>

地区	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
豊中	2	0	58	1, 471	80, 000
三野	1	1	10	60	10, 000
計	3	1	68	1, 531	90, 000

<障害者サロン>

地区	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
山本	1	0	35	246	40, 000

<毎日型サロン>

地区	助成サロン数	増減	延開催回数	延参加人数	助成額(円)
三野	1	0	119	7,283	100,000
豊中	1	0	295	1,838	100,000
財田	1	0	87	2,560	100,000
計	3	0	501	11,681	300,000

<サロン活動推進者研修会の開催状況>

地区	内 容
高瀬	令和7年3月6日 みとよ未来創造館 「あなたや家族が騙されてもおかしくない！詐欺(金融トラブル)について」 SMBC コンシューマーファイナンス(株) 中村 翔平氏 参加者：44人／参加サロン数 27
山本	令和7年2月4日 山本庁舎2階大会議室 「災害への備えについて 備えあれば憂いなし ～物と心の備えが必要～」 防災士 黒川 太一氏 参加者：22人／参加サロン数 12
三野	令和7年2月25日 三野町生涯学習センター 「臨床美術体験」 臨床美術士 矢野 香氏 「町内サロン世話人等による意見交換会」 参加者：11人／参加サロン数 6
豊中	令和7年3月17日 市民交流センター 「サロンでできる軽体操」 カラダラボ 高木 駿氏 参加者：40人／参加サロン数 25
詫間	令和7年3月6日 松崎コミュニティセンター 「特殊詐欺被害防止教室」 香川県警察本部 参加者：18人／参加サロン数 10
仁尾	令和7年3月13日 市民センター仁尾 「フレイル予防・運動を通じた健康づくりについて」 三豊市健康課 参加者：30人／参加サロン数 14
財田	令和6年10月30日 国保高齢者保健福祉支援センター 「音楽をみんなで楽しもう サロンに持ち帰り実践できる講演会」 講師 大浦美樹氏 参加者：15人／参加サロン数 6

(参加者：延 180 人／参加サロン数：延 100)

（４）広報啓発事業 事業費 2, 175, 962円

広報紙を年４回発行し、地域住民への福祉活動の啓発や、サロン活動等の地域福祉活動の情報発信を行った。

また、ホームページ等を活用しタイムリーな事業、スケジュール等の情報内容を更新する等、情報提供に努め随時発信を行った。また、災害が発生した際、被災状況やボランティアの必要など、現地の状況やニーズを正確に把握し、情報を発信する必要があるため、災害ボランティアセンター特設ページを作成した。

<「しちふく」の発行状況>

発行月	頁数	主な内容
令和６年 ４月	16	ふれあいいいききサロン助成金や各種助成金案内、ボランティア保険案内、福祉体験学習、七福通信、赤い羽根共同募金関連 他
７月	12	令和５年度事業報告・決算、令和６年度事業計画・予算、七福通信、三豊市ボランティアセンター、福祉サービス援助事業(日常生活自立支援事業)他
10月	12	夏のチャレンジボランティア講座 2024、七福通信、ファミサポ養成講座、赤い羽根共同募金のお願い、三豊市社会福祉大会案内 他
令和７年 １月	12	三豊市・香川県社会福祉大会報告、ふくし川柳、ファミリーフォトコンテスト、七福通信、社協ふくしフェスタ、三豊市こどもの居場所づくり事業、他

（５）社会福祉大会開催事業 事業費 496,305円

「第19回三豊市社会福祉大会(令和6年11月9日開催)」は、多年にわたり社会福祉の発展に貢献されている方々をはじめ、三豊市社協に心温まるご寄附をいただいた個人・団体の皆さまへ感謝の意を込めて表彰状並びに感謝状を贈呈した。

また、ふくし川柳の受賞者も同時に発表した。

次に、さぬき市で活躍中の「もみの木音楽舎」から梶谷祐子氏を招いて講演や、リヤヤー(竖琴)やピアノの演奏など行った。

令和6年 7月 1日 令和6年度会長表彰候補者の推薦について(各種団体依頼)

9月26日 第19回三豊市社会福祉大会実行委員会開催

受賞者の選考について・大会開催について

<第19回三豊市社会福祉大会の概要>

来場者数:約160人

開催日	主な内容	場 所
令和6年11月9日	式典 (表彰) 本会、社会福祉施設及び社会福祉団体等の役員 1名 社会福祉事業奉仕者 5名	みとよ 未来創造館

	社会福祉事業奉仕団体 1 団体 (感謝) 社会福祉事業協助者 8 名 社会福祉事業協助団体 7 団体 (ふくし川柳受賞者) 小中学生の部 9 名 一般の部 5 名 講演 「障害のある子が教えてくれた、元気に生きるために大切なこと」 講師 もみの木音楽舎 主宰 梶谷祐子氏	
--	--	--

(6) 災害対策推進事業 事業費 608,075円

① 職員訓練及び研修

災害発生時に迅速な対応ができるよう、職員研修及び訓練として、緊急連絡手段のツールであるインターネット回線を使った安否確認システムの運用や入力操作の確認を行ったほか、行政及び関係団体との連携強化や情報共有等を目的とした災害ボランティアセンター設置運営訓練等を実施した。

< 訓練状況 >

開催日	内 容	参加人数
令和6年 8月7日	令和6年度災害時の協働・連携体制強化研修に関する事前協議 場所：三豊市役所危機管理センター他	4
8月16日	内容：11月25日の研修会に向け、県、市、社協にて訓練の内容	5
9月9日	内容や発災の想定、資機材の準備等の事前打ち合わせを行った。	7
11月14日		5
11月25日	令和6年度災害時の協働・連携体制強化研修（西讃ブロック） ※内閣府・令和6年度官民連携による被災者支援体制構築事業・モデル事業の一環にて実施 場所：三豊市役所西館 内容：大規模災害の被災者支援を円滑に行うため、行政、社協、団体等の連携やボランティアの受入・調整についてシミュレーション等を実施することで、関係機関の協働意識の向上及び連携強化を図る。また、それぞれの役割の情報共有を図る。	52
令和7年 3月19日	三豊市社協災害時職員安否確認システム訓練 場所：三豊市社協各支所等 内容：グーグルフォームを利用した安否確認システムより、各職員メールアドレスへ安否確認回答フォームを一斉配信し、各自現在状況を返信することで状況把握を行う訓練を実施。	45

(延 118)

<研修会・訓練等の参加>

開催日	会議名	開催場所等
令和6年5月9日	第2回能登半島地震被災地社協・支援者からの現地状況	オンライン会議
5月29日	令和6年度能登半島地震災害ボランティアセンター運営支援報告会	県社会福祉総合センター
10月18日	令和6年度能登半島地震における社会福祉協議会による支援活動報告会	オンライン
11月10日	令和6年度吉津地区自主防災会防災訓練	三豊市立吉津小学校
11月13日	令和6年度香川県災害ボランティア受入体制強化研修（県域研修）	サンポートホール高松
11月19日	令和6年度災害ボランティアセンター運営者養成研修	県社会福祉総合センター
12月8日	たくま防災フェスタ	マリンウェーブ
令和7年1月26日	日本防災士四国支部連絡協議会	オンライン
2月	内閣府主催令和6年度多様な主体間における連携促進のための研修会	オンライン
2月21日	令和6年度災害ボランティアセンター設置・運営における連携を考える研修会	県社会福祉総合センター

<情報発信に向けた整備>

ボランティアセンターが設置された際に、センター運営に関しての情報を被災された地域の方や、ボランティア活動に協力してくれる方へいち早く提供するために、災害ボランティアセンターのホームページを作成した。

② その他

令和6年3月に職員2名が従事した能登半島地震における災害ボランティアセンターの運営支援の活動状況について、理事会・評議員会にて報告会を実施し情報の共有を行った。また、防災意識の向上や災害ボランティアについて広く知ってもらえるよう、学生向けの災害ボランティア講座を実施し、防災食アレンジ体験等を行った。また、自主防災組織や防災士など地域防災を担う方々を対象に、合同研修会を開催した。

開催日	内容
令和6年5月22日	香川高専向け EVAG 体験 SDGs 目標 11 住み続けられるまちづくりを ～三豊市社会福祉協議会の取り組みから～
6月11日 28日	三豊市社会福祉協議会理事会・評議員会 令和6年度能登半島地震災害ボランティアセンター運営支援報告会
8月25日	令和6年度高校生向け災害ボランティア講座 ～食を通じて受援と支援を考えよう～
令和7年2月9日	令和6年度三豊市災害ボランティアセンター活動に関する合同研修会

(7) まるみプラン推進事業 事業費 1, 277, 598円

① 第4期三豊市地域福祉活動計画(まるみプラン)の推進

第4期計画を実践するため、様々な地域福祉ニーズに適切な対応をした。また、各地区(旧町)の地域福祉活動計画(まるみプラン)実行委員会や地区社協等が主体となり、活動の見直しや更なる取り組みを実施した。

●基本目標1:“ひとづくり”では、福祉の心を育てる福祉教育の充実と啓発のため、出前講座や各種福祉体験、認知症サポーター養成講座を行い、福祉への関心と人権意識を高めた。また、ボランティアの育成として介護予防サポーター養成講座の開催、中高生向けボランティア体験講座の充実を図った。

●基本目標2:“しくみづくり”では、相談受付や生活困窮者支援の強化に努めた。ふれあい・いきいきサロンやこどもの居場所など、それぞれの分野で担い手や活動者同士のネットワークづくりを企画、市と連携したこどもの居場所づくりに係るネットワーク会議、交流会や研修会の開催を定期的に行った。こうした活動を発信する中で、賛同された地域住民や農家、企業等からの食材や物品の寄付など、応援の仕組みの輪が広がりをみせた。

●基本目標3:“きずなづくり”では地域の防災意識を高めるとともに、関係者同士がつながり合うことを目的に、県主催のモデル事業として災害時の協働・連携体制強化研修の協働や自主防災組織・防災士等に向けた合同研修会を開催し、お互いの役割の相互理解や連携強化に努めた。

<地区実行委員会等の開催・運営>

地区	委員人数	運営形体	開催数	実施事業
高瀬	開催事業に応じたボランティアスタッフ募集	まるみプロジェクト (プラットフォームとして)	事業 3	「子育て支援ステーションと共同、みんな集まれ!秋まつり」 (参加者 51 人(親子)) 「地域向けレクリエーション用品の体験会」(参加者 44 人) 「高瀬健康ウォーキング」 (参加者 42 人)
山本	18	全体会 地区社協 会長会・役員会等	2 3	「宝山湖公園ウォーキング」 (参加者 64 人) 「お花見ウォーキング」 (参加者 86 人) 「長寿会行事への協賛」
三野	16	全体会 事業	5 13	「三野町子育て 10 か条」町内保・幼・小・中学校、各戸配布(啓発) 「町文化祭にて、まるみプラン実行委員会活動展示」 「ゴミ持ち帰り運動促進(各体育祭、みのふれあい祭り等でのぼり設置)」 「三野ゆるボラ活動」 ①夏休み宿題大作戦ボランティア

				(2日間参加者 小学生 43 人、中高生ボランティア 17 人、個人ボランティア 4 人) ②三野こども祭りボランティア (中高生ボランティア 5 人) ③大見盆踊り大会ボランティア (中高生ボランティア 5 人) ④幼稚園そうめん流しボランティア (中高生ボランティア 5 人) ⑤高齢者配食見守りボランティア (中高生ボランティア 4 人) ⑥赤い羽根共同募金街頭募金ボランティア(中高生ボランティア 10 人) 「外国食文化交流会」 (参加者 40 人/ミャンマー技能実習生 16 人、一般 24 人) 「男性料理交流会」(参加者 15 人) 「多文化交流会」 (参加者 65 人/外国人 18 人、子ども 10 人、一般 37 人) 「みのふるさと再発見ウォーキング」 (参加者 89 人)
豊中	24	全体会 リーダー会 集いの場 検討部会 事業	2 3 3 2	「豊中まるみウォーキング」 (参加者 150 人) 「豊中町文化祭にて活動パネル展示」 「豊中こども広場(小学生ニューススポーツ体験、おにぎりづくり)」 (町内小学生 24 人、スポーツ推進委員 13 人、学生ボランティア 4 人)
詫間	9	全体会等 事業	会議 4 事業 1	「たくま分散ウォーキング」 (松崎・詫間・大浜・箱浦、栗島・志々島) (参加者 245 人)
仁尾	16	事業	15	「福祉ポスター募集・掲示」 「見守り活動支援(地区社協共催事業)」 「ふれあいいきいきサロン備品整備」 「ファミリー交流活動仁尾さんぽ(老人クラブ共催)」 「男の手料理(公民館共催)」 「レディースキッチン」 「親子料理教室」 「タケノコ堀体験」 「高齢者訪問活動(仁尾地区民協)支援」 「曾保地区防災訓練支援」

財田	31	全体会	3	「高齢者世帯対象おはぎ・弁当配食サービス」
		打合せ会	2	「90 歳以上対象 年賀状交流活動(小学校高学年児童へ依頼)」
		事業	5	「パフォーマンスシアター(腹話術・大道芸) 多世代交流活動」 「宝山湖ウォーキング」

② 地域福祉活動に対する助成金交付

- ・各地区地域福祉活動計画経費として、共同募金助成事業より経費を充当した。
- ・各地区とも 150,000 円の助成金を原資に地域での活動を実施した。

(8) 地域我が事・丸ごと推進事業 事業費 561,370円

地域共生社会の実現に向けて、総合的に取り組むべきこととされており、この支援体制づくりに努めることで、制度・分野ごとの縦割りの関係を超え、地域住民や地域の多様な主体が我が事として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて丸ごとつながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに作っていく社会の一助となるよう関係機関等とも協力し取り組んだ。

また、困窮世帯への即時支援に活用する食材等を整備し、必要な世帯へ配布した。

(9) 地域活動応援事業 事業費 602,455円

分野を問わず、地域の中の困りごとをニーズキャッチし、地域共生社会のための居場所づくりや見守り等を行う事業の相談及び助成金による支援を行うことで、活動の後押しができた。また、助成金活用等の相談を行うなか、各種団体との関係構築や地域資源の把握などに繋げた。

① 地域活動応援事業（小地域活動に対する助成金交付）

＜交付状況 7 団体＞

（単位：円）

活動地域	活動内容	件 数	助成金額
山 本	居場所づくり	1	50,000
		1	50,000
三 野	配食サービス	1	50,000
豊 中	啓発活動	1	50,000
	居場所づくり	1	50,000
詫 間	ボランティア	1	20,000
財 田	居場所づくり	1	50,000
合 計		7	320,000

② 見守り活動助成事業（高齢者声かけ見守り活動に対する助成金交付）

＜交付状況：6 団体＞

（単位：円）

活動地域	対象者数	助成金額
高 瀬	21	50,000
山 本	153	41,000
三 野	27	50,000
詫 間	36	50,000
豊 中	27	35,000
	15	50,000
合 計	279	276,000

4. 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

事業費 5,780,800円

低所得・障がい・高齢者世帯に対し、資金の貸付と相談支援を行うことにより、世帯の経済的自立・生活意欲の助長促進・在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的に、民生委員・児童委員、三豊市、県社協と連携し相談支援を行った。併せて、既借受人を対象とした債権の管理及び世帯の実態把握を行うため、県社協主催の相談会を年1回（7月24日）実施した。

① 生活福祉資金貸付事業

事業費 280,800円

<相談・貸付状況>

(単位:件/円)

資金種別	相談件数	貸付件数	県社協貸付金額
コロナ特例貸付(緊急・総合)	47	0	0
福祉資金(福祉費)	8	0	0
福祉資金(緊急小口)	5	1	45,000
教育支援資金	10	0	0
その他	11	0	0
合 計	81	1	45,000

② 生活福祉資金特例貸付事業

事業費 5,500,000円

コロナ禍による減収または失業された方に対する特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)を利用された方の債権管理事務及びフォローアップ支援に取り組んだ。

<令和7年3月末現在償還状況>

(単位:件)

資金種別	貸付件数	償還中	免除件数	猶予中	相談中
コロナ特例貸付(緊急・総合)	698	104	243	0	110

5. 福祉サービス利用援助事業 (日常生活自立支援事業) (県社協受託事業)

事業費 12,901,126円

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、日常生活を送るうえで必要なサービスを利用するための情報を入手したり、理解したり、判断したり、意思表示を自分だけでは適切に行うことが難しい方が、地域において自立した生活が送れるよう支援した。

具体的には、本人との契約により、福祉サービスの利用援助(必要な手続きの援助など、日常的金銭管理(公共料金の支払いや年金の受領確認、生活費の払戻など)、書類等預かり(通帳や年金証書の預かりなど))を実施している。

<相談・援助件数>

内 容	本事業の利用に関するもの・その他				合 計
対 象 者 事 項	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明 その他	
a. 問合せ件数 (制度、事業について)	1	0	1	1	3
b. 初回相談件数 (初回相談受付)	10	0	7	6	23
c. 相談援助件数 (a・b 以外)	1,168	810	1,622	687	4,287
合 計	1,179	810	1,630	694	4,313

＜利用者の状況＞

(単位:人)

対 象 者	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合 計
新規契約者	4	0	2	4	10
契約終了者	2	1	2	1	6
令和 6 年度末利用者	16	15	14	10	55

(内:生活保護受給者 8 人)

専門員・生活支援員の活動について

専門員 4 人と生活支援員登録 20 人のうち 12 人が利用者に対し、訪問を行った。

＜関係機関との会議・研修受講等＞

開 催 日	会 議 名	開催場所
令和 6 年 5 月 8 日 11 月 28 日	生活福祉資金貸付事業・日常生活 自立支援事業・生活困窮者自立支 援事業等担当者定例会	県社会福祉総合センター
令和 6 年 5 月 30 日 令和 7 年 3 月 4 日	生活支援員研修	県社会福祉総合センター 丸亀市保健福祉センター
令和 6 年 9 月 21 日	あんしんネット勉強会	県社会福祉総合センター
令和 6 年 10 月 22 日 令和 7 年 1 月 28 日	三観地域自立支援協議会	観音寺市役所 三豊市役所
令和 7 年 3 月 10 日	三観地域自立支援協議会 精神部会研修会	三豊合同庁舎
令和 6 年 10 月 22 日	三観地域障害者差別解消支援地域 協議会	観音寺市役所

6. 法人成年後見等事業 事業費 6, 4 6 4, 4 9 7 円

(1) 法人成年後見等事業 事業費 6, 3 0 3, 3 1 2 円

認知症高齢者、知的障がいのある人及び精神障がいのある人など判断能力が不十分な方に対し、裁判所より選任を受け、本人の判断能力や生活の実情に応じた身上監護及び財産管理を行った。ケース内容によっては、弁護士と複数での受任を行うなど、市民後見人のケースの監督業務を担っている。

なお、後見報酬(手数料)は裁判所が決定する。

＜受任状況＞

類 型	成年後見	保 佐	補 助	監 督	合 計
令和 5 年度まで累計件数	15	13	2	0	30
令和 6 年度選任件数	1	1	0	1	3
令和 6 年度終了件数	1	2	0	0	3
令和 6 年度末受任件数	9	8	1	1	19

令和 6 年度終了件数のうち 1 件は、市民保佐人に交代し、本会は保佐監督人として選任されている。

＜利用者の年代別＞

年 齢	90 才以上	80 才代	70 才代	60 才代	50 才代	40 才代
人数	4	6	3	3	2	1

(生活保護受給者なし)

三豊市法人成年後見事業検討委員会の設置

適正な業務を担保するため受任適否の判断や、後見業務の指導等を受けることを目的に法人成年後見事業検討委員会を設置している。

＜委員会構成＞

選 出 区 分	選出団体等
学識経験者	四国学院大学社会福祉学科教授 香川県福祉サービス運営適正化委員会委員長
三豊市社協 役職員	三豊市社協 監事
弁護士	香川県弁護士会
司法書士	リーガルサポート香川
社会福祉士	一般社団法人香川県社会福祉士会
行政機関関係者	三豊市福祉課
	三豊市介護保険課

＜委員会＞

開 催 日	内 容	開催場所
令和 7 年 3 月 7 日	新規受任ケース(1 件)について審議 令和 6 年度の活動報告について	三豊市豊中庁舎

＜関係機関の会議・研修受講等＞

開 催 日	会 議 名	開催場所等
令和 6 年 4 月 25 日 令和 6 年 7 月 22 日 令和 6 年 10 月 29 日	権利擁護担当者会	アイパル香川 県社会福祉総合センター
令和 6 年 8 月 20 日	受任者調整会議	三豊市役所
令和 6 年 9 月 6 日	市民後見人交流会	さぬき市源内音楽ホール
令和 6 年 11 月 22 日	家事関係機関と家庭裁判所との連絡 協議会	Zoom オンライン
令和 7 年 1 月 16 日	三豊市成年後見制度利用促進審議会	三豊市役所
令和 7 年 1 月 23 日	地域ケア推進会議	三豊市役所
令和 7 年 3 月 24 日	中核機関連絡会議	県社会福祉総合センター

(2) 市民後見人養成支援事業 (三豊市受託事業) 事業費 161,185 円

① 市民後見人の養成

市民後見人養成講座修了者(市民後見人候補者)10 人に対して、フォローアップ研修(2 回)と個別面談等(3 回)を開催し、活動に向けたスキル習得に励んだほか、今後の活動への意向確認等の面談を行った。結果、令和 6 年 10 月に市民保佐人 1 人が誕生した。

<市民後見人養成フォローアップ研修>

開催日	内 容	講 師	受講者数
令和6年 8月 2日	身寄りのない方への支援	三瀬社会福祉士事務所 三瀬 誠氏(社会福祉士)	4
令和7年 2月 12日	消費者問題～事例紹介と 防止策について～	香川県消費生活センター 羽佐古 容子氏 (消費生活相談員)	4

<個別面談と個別フォローアップ>

開催日	内 容	対象人数
令和6年 7月 30日	個別面談 (市民後見人へのステップアップ意向確認)	1
令和6年 10月 29日	市民後見人に対する個別フォローアップ (面談・家庭裁判所同行など)	1
令和6年 12月 18日	市民後見人に対する個別フォローアップ (面談・金融機関同行など)	1

② 市民後見人候補者の活躍支援

市民後見人候補者が日常生活自立支援事業の生活支援員・法人後見支援員として活躍できるよう、実践活動の場を提供し、8人の活動を支援した。

<生活支援員活動実績>

延べ活動者	援助を受けた者	延べ支援回数
5名	5名	52回

<法人後見支援員活動実績>

延べ活動者	援助を受けた者	延べ支援回数
4名	4名	43回

7. 生計困難者に対する相談支援事業 事業費 105,000円

香川おもいやりネットワーク事業は、社会福祉施設や民生委員・児童委員と三豊市社協が連携するネットワーク会議を開催し、情報交換や課題の共有を図るなど、支援を必要とする方に「地域全体で支援する仕組み」をつくり、「福祉でまちづくり」を目指し取り組んだ。

また、相談者17人に対し、継続的相談とフードバンクや寄付物品等の活用により支援を行い、状況により生活福祉資金貸付制度や生活困窮者自立支援相談など、必要な制度や支援に繋げた。

<会議開催状況>

開催日	内 容	場 所	参加人数
令和6年 12月 23日	心配ごと相談事業について	山本庁舎 2階大会議室	7

8. 生活困窮者自立支援事業（三豊市受託事業）事業費 13,581,456円

（1）生活困窮者自立相談支援事業 事業費 6,580,396円

生活困窮者自立支援法(平成 25 年法律第 105 号)に基づき生活保護受給者の前段階の生活困窮者及びひきこもりやニートの状態にあり、将来的に生活困窮に陥るリスクのある者に対し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を行った。

＜相談・援助件数＞

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規受付件数	1	1	0	1	0	2	1	0	1	0	0	2	9
相談援助件数	108	128	63	74	127	111	117	55	53	80	52	79	1,047
合計	109	129	63	75	127	113	118	55	54	80	52	81	1,056

＜関係機関との会議・研修受講等＞

開催日	会議名	開催場所等
令和6年8月23日 11月11日 令和7年2月3日	三豊市ひきこもり家族教室 マーガレットの会	市危機管理センター みとよ未来創造館 豊中町農村環境改善センター
令和6年5月23日	ひきこもり支援がよくわかる説明会	県庁
令和6年8月23日	三豊市ひきこもり支援対策協議会	市危機管理センター
令和6年10月16日 令和7年1月29日	三豊市発達障害等支援連携会議 (実務者会議)	市危機管理センター
令和7年1月21日	生活困窮者自立支援制度支援員研修(第2回)	県社会福祉総合センター

（2）子どもの学習支援事業 事業費 3,817,060円

生活困窮者自立支援法に基づき、生活保護世帯及び生活困窮世帯の中学生に対して基礎学力の向上や学習の場所・機会の提供などを通じて、高等学校への進学を支援することで、子どもの社会的自立を促し、貧困の連鎖を防止することを目的に開催した。

○ 学習支援教室実施期間及び実施時間、場所

令和6年7月27日～令和7年2月22日 毎週土曜日 午前9時～12時
豊中町農村環境改善センター、市民交流センター、豊中庁舎

○ 参加者

生徒：31人（中学3年生13人・2年生10人・1年生8人）
学習支援員：10人
学生スタッフ：8人

＜生徒内訳＞

中学校	高瀬	三豊	三野津	豊中	詫間	仁尾	和光	市外	合計
3年生	4	1	1	1	4	0	1	1	13
2年生	3	1	2	0	2	1	0	1	10
1年生	3	0	2	1	1	1	0	0	8

＜開催数＞

月	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
開催数	1	4	4	4	4	3	3	4	27

＜参加者数＞

月	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
生徒	17	67	58	34	53	38	37	59	363
学習支援員	13	33	33	21	33	20	25	30	208
学生スタッフ	9	16	18	22	19	16	11	17	128
合 計	39	116	109	77	105	74	73	106	699

（３）家計改善支援事業 事業費 1, 186, 000円

生活困窮者自立支援法に基づき生活保護受給者の前段階の生活困窮者及びひきこもりやニートの状態にある者に、家計表等のツールを活用し、生活困窮者の属する世帯全体の家計収支等を評価・分析(アセスメント)状況に応じた家計再生計画を作成するとともに、対象者の家計改善の意欲を高めることを目的に実施した。

＜相談・援助件数＞

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規受付件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
相談援助件数	8	27	14	15	8	12	14	7	13	8	9	9	144
合 計	8	27	14	15	8	12	14	7	14	8	9	10	146

＜関係機関との会議・研修受講等＞

開催日	会議名	開催場所
令和7年1月21日	生活困窮者自立支援制度支援員研修 (第2回)	県社会福祉総合センター

（４）就労準備支援事業 事業費 1, 998, 000円

就労に必要な実践的な知識や技能等が不足しているだけでなく、複合的な課題があり、生活リズムが崩れている、社会との関わりに不安を抱えている、就労意欲が低下している等の理由で、就労に向けた準備が整っていない生活困窮者に対し、計画的かつ一貫して支援を実施した。

<申請・支援件数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
申請件数	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
支援件数	3	2	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	36

<関係機関との会議・研修受講等>

開催日	会議名	開催場所
令和7年1月21日	生活困窮者自立支援制度支援員研修 (第2回)	県社会福祉総合センター

9. ファミリー・サポート・センター事業 (三豊市受託事業)

事業費 12,428,592円

(1) ファミリー・サポート・センター事業 事業費 10,214,896円

① 会員数及び活動件数

子育て支援センター等への出張登録にて新規登録はあるものの、対象年齢から外れる子どもの増加や、まかせて会員の高齢化等による退会など昨年度より会員数が減少となった。

<会員数> (単位:人)

会員種別	本年度	前年度	増減
提供(まかせて)会員	274	282	△8
依頼(おねがい)会員	708	707	1
両方会員	28	26	2
合 計	1,010	1,015	△5

<活動実績> (単位:件)

相互援助活動の取組内容	本年度件数	前年度件数
① 保育施設までの送迎	263	536
② 放課後児童クラブまでの送迎、終了後の預かり	232	368
③ 保育施設の保育開始前や保育終了後の子どもの預かり	69	22
④ 小学校までの送迎	22	11
⑤ 保護者等の外出の場合の援助	27	42
⑥ 習い事等の送迎	211	424
⑦ 自宅までの送迎	378	431
⑧ 一時預かり施設の送迎	3	95
⑨ その他	172	93
・中学校へ送迎(103)、その他の送迎(24)	(127)	(0)
・保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	(19)	(9)
・保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	(22)	(10)
・その他急用の場合の援助・保護者自宅以外への送迎	(0)	(0)

・職場の送迎	(4)	(74)
合 計	1,377	2,022

② 会員に対して相互援助に必要な講習会の開催

(ア) まかせて会員養成講座を年1回開催し、少人数の参加ながらも新規まかせて会員6名の登録につながった。

＜まかせて会員養成講座＞

開 催 日	内 容	開催場所	受講人数
令和6年10月15日	①子育てをめぐる状況とファミサポ事業の説明 ②手引きの説明	豊中町保健センター	7
10月17日	① 子どもの遊び		9
10月18日	④AEDと心肺蘇生法・子どものケガ～予防・応急処置～		13
10月21日	④ 発達障がいへの理解と家族の支援 ⑤ 保育の心		10
11月5日	⑥ 子どもの栄養と食生活		9
11月6日	⑦ 保護者とのコミュニケーション		9
11月7日	⑧ 小児看護の基礎知識・子どもの発育と病気		8
11月11日	⑨ 子どもの発達とその課題		6
11月12日	⑪ 子どもの世話・三豊市の母子保健事業 ⑫ 子どもの虐待と子育て支援者の役割		8

(延79人)

(イ) 会員のスキルアップのためフォローアップ講習会を開催した。

＜フォローアップ講習会＞

開 催 日	内 容	開催場所	受講人数
令和6年7月12日	発達の気になる子どもへの関わり方	豊中町保健センター	22
令和7年2月18日	チャイルドシートの正しい取り付け方	市民交流センター	13

(延35人)

③ 会員相互の連携と親睦を図る交流会の開催

会員相互の連携と親睦を図るため、毎年、交流会を行っている。感染症予防対策を行い工夫しながら交流会等を開催した。

＜交流会＞

開 催 日	内 容	開催場所	参加人数
令和6年9月28日	あそび横丁！	三野町保健センター	25
10月7日	シンキングボウル瞑想	シェノン	22
12月7日	帽子づくり	三野町保健センター	5

(延52人)

④ 関係機関との連携強化

(ア) 地域子育て支援センター、つどいの広場等との情報交換を行い、よりよい支援になるよう連携強化を図った。

(イ) 県内の関連機関(県・他センター)との連携をとり、会員への対応の仕方や養成講座開催の情報交換を行った。また、県内ファミサポ連絡会に参加しファミサポの援助活動や会員を増やすための方法など、今後の参考になった。

<県内ファミサポ連絡会>

開催日	内 容	開催場所
令和6年8月26日	グループ協議・情報交換	観音寺市社会福祉センター
令和7年1月16日	アドバイザー研修 (ファミリー・サポート・センターにおける運営の課題と取り組み～対人援助の基本等について～) グループ協議・情報交換	たかまつミライエ

(ウ) 職員の日々の業務に係る研修として、一般財団法人女性労働協会開催の研修会に参加した。

<全国アドバイザー研修会>

開催日	内 容	開催場所
令和6年10月25日	ファミリー・サポート・センター事業における配慮が必要な家庭への支援の在り方について	オンライン

⑤ 情報提供・広報活動

ファミサポ通信を年3回発行、各施設等に配布し活動状況や会員数・イベント情報・地域の子育て関連などの情報提供を行った。

広報「みとよ」・社協だより「しちふく」から定期的に情報を掲載することで、地域への情報発信と会員増強に努めた。

子育て世代に向け、LINE 公式アカウントを周知するとともに登録を促した。

発行物	ファミリー・サポート・センターチラシ ファミサポ通信(年3回発行) まかせて会員養成講座チラシ 子育てホームヘルプチラシ (広報「みとよ」・社協だより「しちふく」)
-----	--

(2) 子育てホームヘルプ事業 事業費 1,893,746円

ホームページや社協広報紙への掲載以外にも離乳食講習会等でチラシを配布し、事業周知に努めた。また、出産直後で登録に来られない利用者の場合は、アドバイザーが直接出向き、相談に応じ出張登録を行った。

子どもが生後6か月からは、ファミリー・サポート・センター事業と並行して利用でき、ニーズによって選べるようになっている。

＜利用者・子育てホームヘルパー数＞

登録会員数	利用者	132	(依頼人数 26)	人数計 179
	子育てホームヘルパー	47	(派遣人数 14)	

＜活動件数＞

	相互援助活動の取組内容	活動件数
活動実績	① 食事関係（調理全般）	85
	② 子どもの世話 （子守り・沐浴・沐浴介助・オムツ交換・授乳・寝かしつけ）	125
	③ 受診・参観・上の子の病院受診付添	7
	④ 掃除（洗濯・風呂掃除・トイレ掃除）	64
	合 計	281

＜子育てホームヘルパー・フォローアップ講習会＞

開催日	内 容	開催場所	受講人数
令和6年7月12日	発達の気になる子どもとの関わり方	豊中町保健センター	14

（3）子育て世帯訪問支援事業

事業費 319,950円

家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を、訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことを目的として支援を行った。

また、必要に応じて市保健師や相談員と情報共有を行うとともに支援方針等の協議を行った。

＜派遣回数等＞

派遣回数	時 間 数	延利用者数
120	193 時間	14

10. 居宅介護支援事業

事業費 15,059,602円

介護支援専門員が要介護状態にある高齢者（介護予防等支援含む）に対し、適正な居宅介護支援を提供した。10月の人事異動により介護支援専門員4名（常勤換算3.8）から介護支援専門員3名（常勤換算2.8）で行っていたが、介護職員の人員不足により事業継続が難しく、令和7年1月31日に事業を終了した。

① 要介護ケアプラン業務

○4～12月延人数 573人（前年度 1,440人）前年度対比 39.7%

プラン料 要介護1、2 = 10,860円

要介護3～5 = 14,110円

特定事業所加算Ⅱ（1件につき4,210円加算）

※10月から算定中止

<介護度別内訳>

(単位:人)

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
244	166	53	90	20	573

<月別ケアプラン作成件数>

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	合 計
人数	106	106	105	100	71	43	25	14	3	0	573
内初回加算	3	3	0	0	0	1	0	0	0	0	7

② 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務 (三豊市受託事業)

要支援 1、2 及び事業対象者

○4～12 月延人数 95 人(前年度 167 人) 前年度末対比 56.8%

受託金 389,910 円

プラン料 3,978 円/件

初回加算(新規)3,000 円/件・委託連携加算(初回のみ)3,000 円/件

<月別予防プラン作成件数>

(単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	合 計
人数	13	12	12	12	13	12	9	7	5	0	95
内新規対象者	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

居宅介護支援事業所の資質向上を目指し、ケアマネ会議(事業所内)を週 1 回開催し、議題に基づき共有連携を図ったほか、県や市、専門職団体が実施する研修会に参加する等スキルを磨いた。

<介護支援専門員研修>

開 催 日	参加者	研 修 内 容
令和 6 年 4 月	全員	ケアマネ会議(3、10、17、24 日)
5 月 24 日	全員 2	ケアマネ会議(1、8、15、22 日) 第 1 回介護支援専門員研修会
6 月 6 日	全員 1	ケアマネ会議(5、12、19、26 日) 在宅医療・介護連携勉強会
19 日	全員	「緩和ケアについて」「がん相談支援センターについて」
29 日	1	職員研修「食中毒の予防と対策について」 長寿社会開発センター研究セミナー 「拒否、依存、攻撃…その時どうする?精神科医からのアドバイス」
7 月 26 日	全員 全員	ケアマネ会議(3、10、17、24 日) トーカイ Web セミナー「運営指導・監査等の行政対応セミナー」
8 月 8 日	全員 1	ケアマネ会議(7、16、21、28 日) リスクマネジメント研修会
23 日	3	主任介護支援専門員連絡会 「肝臓病患者が在宅で生活する上で気を付けること」

9月 11日 25日	全員 1 全員	ケアマネ会議(11、18、25日) 職員研修「高齢者虐待防止について」 感染対策委員会・虐待防止委員会
10月 1日 2日 17日 21日	全員 1 3 1 全員	ケアマネ会議(2、9、16、23、30日) 長寿社会開発センター研究セミナー 「ライフステージに応じた意思決定支援 ～医師の尊重・尊厳の確保～」 職員研修「BCP机上訓練」 介護ICTロボット・福祉用具体験フェア in みとよ 職員研修「接遇力向上研修」
11月 13日 14日 25日	全員 3 1 2	ケアマネ会議(6、13、27日) 職員研修「インフルエンザ予防について」 長寿社会開発センター研究セミナー 「在宅のケアマネジメントで行う家族支援の基本」 職員研修「災害時の協働・連携体制強化研修」
12月 10日	全員 1	ケアマネ会議(4、11、18、25日) 職員研修「人権研修」
令和7年 1月 9日 10日 10日 8～29日	全員 1 1 3 1	ケアマネ会議(8、15、21、29日) 四国ブロック市町村社会福祉協議会研究協議会 四国ブロック市町村社会福祉協議会研究協議会 他事業所との事例検討会 令和6年度福祉サービス苦情対応研修会(オンライン)

※その他、介護支援専門員更新研修Ⅱ(1人受講)

11. 訪問介護事業 事業費 56,632,766円

(1) 訪問介護事業 事業費 31,837,349円

介護福祉士または訪問介護員研修の修了者である職員または登録ヘルパーが、要介護状態にある高齢者に対し、介護保険法により適正に訪問介護を実施した。

介護保険・障害福祉サービス事業所のサービス提供責任者5人、令和7年2月よりサービス提供責任者6人が訪問計画・ヘルパー配置計画及びモニタリングを行い、利用者の生活機能の維持、向上を目指し支援を行った。

＜介護度別利用人数＞

(単位:人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
42	11	7	2	1	63

＜月別利用人数＞

前年度末 749人

対前年比 100.5%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	70	65	66	65	67	62	60	59	56	60	61	62	753

＜月別利用延人数＞

前年度末 8,930 人 対前年比 98.6%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	798	808	750	840	774	732	757	780	630	632	590	721	8,812

（２）生活支援訪問事業 事業費 23,969,637円

三豊市の介護予防・日常生活支援事業の実施に伴い、介護予防・日常生活支援を、その心身状況や環境状況に応じた適切な訪問サービスを実施した。

＜対象別人数＞

(単位:人)

事業対象者	要支援 1	要支援 2	合 計
5	22	45	72

※予防サービス利用者は、訪問サービス(Ⅰ)～(Ⅲ)を選択できる。

訪問型独自サービスⅠ…週 1 回程度の利用 1,176/単位(1 単位:10 円)

訪問型独自サービスⅡ…週 2 回程度の利用 2,349/単位(1 単位:10 円)

訪問型独自サービスⅢ…週 2 回以上の利用 3,727/単位(1 単位:10 円)

(実績に伴う 1 回単位での収入)

＜月別利用人数＞

前年度末 920 人 対前年比 90.9%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	69	69	67	70	67	64	69	73	75	71	71	72	837

＜月別利用延人数＞

前年度末 6,198 人 対前年比 92.9%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	478	490	447	494	455	443	514	492	468	450	448	585	5,764

（３）その他訪問事業 事業費 825,780円

① 生活管理指導員派遣事業 (三豊市受託事業)

ひとり暮らし高齢者への訪問事業(原則、週 1 回 1 時間程度)は、日常生活(家事・対人関係等)への支援・指導を関係機関と緊密に連絡調整を行い、要介護状態の進行予防を実施するもの。

＜派遣回数等＞

派遣回数	時間数 (前年度末)	延利用者数	対前年比(時間数)
0 回	0 時間 (0 時間)	0 人	0%

※令和 6 年度利用なし。

② 子育て世帯訪問支援事業 (三豊市受託事業)

乳幼児家庭全戸訪問事業において把握した「子育てで支援が必要である家庭」に対し、訪問サービスを実施し、子育てに関する相談や必要な支援を行った。

三豊市から、2 世帯(6 か月間)の依頼があった。

＜派遣回数等＞

派遣回数	時間数 (前年度末)	延利用者数	対前年比(時間数)
15	15 時間 (31 時間)	5	48.3%

③ 支援サービス事業

介護保険事業外の訪問サービスを全額利用者負担で提供した。(対象者2人)

④ その他

訪問介護サービスの提供にあたり、担当のサービス提供責任者と訪問する登録ヘルパーとのカンファレンス(ケース検討)、また、サービス向上とヘルパーの資質向上を目指した定期的な会議の開催や、研修会に参加した。他の事業同様、対外的な研修は中止や回数を減らすなど参加人数を制限しての開催となった。

＜訪問介護事業(障がい含む)における研修会及びカンファレンスの開催状況＞

開催日		人数	研修内容
令和6年	4月8日	19	ヘルパーミーティング(高瀬地区) 「研修：介護報酬改定と業務継続計画と行動基準について」
	4月12日	4	ヘルパーミーティング(財田・山本地区) 「研修：業務継続計画に基づく行動基準について」
	4月17日	13	ヘルパーミーティング(仁尾・詫間地区) 「研修：介護報酬改定と業務継続計画について」
	5月14日	6	ヘルパーミーティング(財田・山本地区)「研修：接遇について」
	28日	6	身体拘束・虐待予防委員会
	6月10日	6	感染症予防及びまん延防止委員会
	19日	14	ヘルパーミーティング(仁尾・詫間地区) 「研修：感染症(食中毒予防)について」
	21日	19	ヘルパーミーティング(高瀬地区) 「研修：感染症(食中毒予防)について」
	7月4日	1	訪問介護適正実施研修会
	8月8日	1	リスクマネジメント研修
	21日	13	ヘルパーミーティング(仁尾・詫間地区)「研修：BCP訓練」
	9月17日	6	身体拘束・虐待予防委員会
	24日	5	ヘルパーミーティング(財田・山本地区) 「研修：介護職の倫理を考える」「研修：BCP訓練」
	27日	1	中堅介護職員研修「医療知識に関する研修」
	10月11日	5	感染症予防及びまん延防止委員会
	21日	18	ヘルパーミーティング(高瀬・山本地区) 「研修：セルフネグレクトへの支援を考える」
		4	接遇力向上研修
	11月8日	1	認知症研修会
	13日	13	ヘルパーミーティング(仁尾・詫間地区) 「研修：セルフネグレクトへの支援を考える」
	25日	5	災害時の協働・連携体制強化研修
	12月10日	4	人権研修
	11日	1	中堅介護職員研修「ターミナルケアに関する研修」
	20日	21	ヘルパーミーティング(高瀬・山本地区) 「研修：感染症対策について」

令和7年	1月10日	5	感染症予防及びまん延防止委員会
	15日	1	福祉サービス苦情対応研修会(オンライン)
	3月12日	1	介護事業所集団指導
	31日	1	障害事業所集団指導(書面)

12. 障害福祉サービス事業 事業費 10,245,176円

身体障がい・知的障がい・精神障がい等のある人の日常生活を支援し、自立した生活を営むことができるようヘルパー派遣を行った。

家事援助が大半を占めているが、通所利用者の移動時の見守り・支援、入浴介助・通院、外出時の援助・排泄行為の介助などのサービスも実施した。

(1) 障害福祉サービス事業(居宅介護) 事業費 8,193,447円

(2) 障害福祉サービス事業(行動援護) 事業費 2,051,729円

<区分別利用人数> (単位:人)

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
4	19	8	3	3	2	39

延利用者数 443人(前年度末 486人) 前年度末対比 91.1%

内訳 居宅介護 397人 給付費収入 11,173,047円

行動援護 46人 給付費収入 1,940,612円

(合計 13,113,659円)

<月別利用人数> (単位:人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	37	37	37	37	35	34	38	36	38	37	38	39	443

<月別利用回数> 前年度末 3,934回 対前年比 84.3%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
居宅	279	251	240	272	255	237	284	245	254	234	245	273	3,069
行動	21	22	24	21	6	22	27	25	21	22	21	17	249
													(3,318)

13. 移動支援事業 (三豊市受託事業) 事業費 2,037,494円

1回あたりの費用	30分まで	1,500円
	1時間まで	3,000円
	以後30分につき	1,000円

<月別利用人数> 前年度末 50人 対前年比 90.0%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	5	3	4	3	3	3	4	4	4	4	4	4	45

<月別利用回数>

前年度末 410 回

対前年比 101.4%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	34	34	34	34	33	31	37	30	32	37	38	42	416

14. 高齢者デイサービスセンター事業 (三豊市受託事業)

事業費 47,229,517円

三豊市財田町デイサービスセンターの運営を三豊市から受託し、各種のサービスを提供することにより、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図るとともに、家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ることを目的に実施した。

経営改善を行い、令和7年度から食事提供の外部委託を決定した。

<活動内容>

時間帯	活動内容
8時40分～	職員が送迎車で自宅に迎え
9時30分～	健康チェック・入浴・手作業・昼食・機能訓練・レクリエーション・おやつ等
15時30分～	職員が送迎車で自宅に送る

<月別実施状況>

前年度利用延人数 4,623 人 対前年比 87.6%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施日数	21	21	20	22	20	19	22	20	20	19	18	20	242
月別利用者数	40	39	37	38	36	36	34	34	37	37	35	34	
利用延人数	403	367	355	401	334	327	353	310	319	300	267	314	4,050

※ 1日平均利用人数 16.7人

15. 生活支援通所事業 (三豊市受託事業) 事業費 2,935,930円

総合事業(通所型サービスA事業)は、高齢者が要介護状態にならないように、レクリエーションや入浴など生活支援を行い、誰もが住みなれた地域での生活の継続するため「環の湯」にて週1回、水曜日に実施した。

※利用者負担額 1回 一律1,230円(昼食、「環の湯」入浴料含む)

<月別実施状況>

前年度利用延人数 454 人 対前年比 95.6%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実施日数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
月別利用者数	10	10	11	11	9	9	9	10	10	10	11	11	
利用延人数	34	40	36	38	32	34	33	38	35	35	36	43	434

※ 1日平均利用人数 9.0人

16. 地域移動支援事業 事業費 20,031,176円

三豊市・ダイハツ工業㈱・三豊市社協が連携し、令和4年6月6日より開始した本事業は、各通所介護施設が単独で行う送迎業務を集約することで、施設職員の負担軽減を図り、人手不足が見込まれる介護施設を支援するもの。

令和6年度は事業拡大を図ったものの、送迎人数は減少となった。新しい施設の参画には至っていない。

<概要>

参加施設：2法人2施設(豊中地域・財田地域)

参加人数：登録104人、送迎実績数2,955回

使用車両：10台

運行体制：運転スタッフ10人、運営スタッフ2人

なお、令和7年3月31日、社団法人みとよ交通システム事業団M i L A I S (ミライズ)に移管する。

<移管理由>

三豊市では、市民の移動、交通に関する事業を集約し、持続可能な地域公共交通を構築するため、一般社団法人みとよ交通システム事業団M i L A I Sを設立し、人員や輸送車両等、限られた資源等を最大限有効活用するために、様々な交通サービスを重ね合わせるにより効率的な運用を目指している、みとよ交通システム事業団に地域移動支援事業を移管することとなった。

(参考)みとよ交通システム事業団M i L A I Sについて

○法人設立日 令和6年7月29日

○代表理事 石原 一也 (三豊市 政策部)

○設立目的 交通・移動などのモビリティサービス提供や支援により、地域におけるモビリティに関する課題解決を目的とする。人口構造の変化に伴う移動困難者の増加、バスやタクシーの運転手不足を踏まえ、自動運転などの先端技術や新しいモビリティサービスにも挑戦し、持続可能な地域公共交通への再構築を進める。

17. その他事業

(1) 老人クラブ連合会

三豊市老人クラブ連合会では、高齢者福祉の理念に基づき「健康・友愛・奉仕」を基本に、健康で生きがいのある生活の実現と、高齢者の保健福祉の健全な発展に寄与することを目的としている。

三豊市老人クラブ連合会から主に会計事務を委託され、各所への連絡調整、会議・委員会の開催、行事の開催等補助的運営支援を行った。また、行事等開催及び運営の補助的支援を行った。

<総会・理事会・女性委員会・部会>

実施期日	名 称	会 場	実施回数又は参加人数
5/24	総会	市民交流センター	178人

令和6年4月～ 令和7年3月	理事会	豊中庁舎4階健診ホール	12回
〃	女性委員会	豊中庁舎相談室	3回
〃	健康長寿部会	豊中庁舎セミナールーム	4回
〃	広報部会	豊中庁舎相談室	3回
〃	生涯学習部会	マリンウェーブプレイルーム	5回

<町老連・地区老連等事業>

スポーツ大会の開催 (市老連助成事業)	各町老連で運動会・種別スポーツ大会等を開催 (参加人数延べ877人)
友愛チーム活動の推進	友愛チーム活動・たまり場活動の推進 (チーム数：47/訪問延回数：1,613回) (たまり場活動数：58か所/参加延人数：8,343人)
交通安全運動の推進	交通安全に関する各種活動の実施
地域の(子ども)見守り活動 と「あいさつ運動」の実施	登下校時における見守りとあいさつ運動展開 (クラブ数：9/会員数：95人)

<市老連主催事業>

名 称	開催日	会 場	参 加 人 員	概 要
女性委員会	7/8	市民交流センター	72	防災研修 「南海トラフ地震、豪雨災害によるため池決壊、ハザードマップ活用等について」
生涯学習部会	10月期	市内各所 (7地区)	約80	交通安全街頭キャンペーン
	R7 1/28	財田町公民館	82	孫たちに語りつぐ地域の歴史について ～北前船の寄港地 栗島の記録資料～
	3月期	市内各所 (7地区)	約80	交通安全街頭キャンペーン
健康長寿部会	5/29	比地小 第2グラウンド	150	第8回ペタンク大会
	10/24	緑ヶ丘総合運動公園 サッカー場	175	第10回G・G大会 (当番町：山本町)

単位クラブ活動研修会	11/28	みとよ未来創造館	90	単位クラブ活動実践発表 発表者：二ノ宮クラブ 芸能発表：大正琴、笠踊り
かがやきクラブ三豊広報紙発行	3/15			各町老連、市老連の活動内容など掲載 新規会員募集

＜その他研修等参加＞

名 称	開催日	会 場	参 加 人 員	概 要
歯と口の健康フェスタ	6/9	市民交流センター	12 名	三豊歯科医師会主催 (参加者：子ども 490 人、保護者 419 人)
中国・四国老人クラブリーダー研修会	7/11 ～12	徳島県三好市	2 名	中国・四国ブロック老人クラブリーダーが集い、日ごろの活動の成果等を持ち寄り、討議と交流を実施（市老連より星川理事、県老連より藤川会長参加）
老人の日・老人週間「社会奉仕の日」	9 月	それぞれ老人クラブで実施		
シニアスポーツ交流大会 (GG)	10/17	高松市立東部運動公園 第 1 サッカー場	37 名	健康づくりや体力の保持・増進、広域観でのスポーツ交流
シニアスポーツ交流大会 (ペタンク)	11/26	坂出市 番の州公園	45 名	健康づくりや体力の保持・増進、広域観でのスポーツ交流 (15 チーム参加)
全国老人クラブ大会	11/20	全国老人クラブ大会	1 名	県老連より藤川会長参加
ぼちぼちクラブ 香川みんなの集い	11/18	レクザムホール	49 名	第 40 回香川県老人クラブ大会 表彰式典・事例発表
地域支え合い・リーダー研修会	R7 3/4	県社会福祉総合センター	14 名	事例発表・グループ協議

（２）共同募金事業

地域の福祉活動を支援し、活動の財源とするため共同募金運動に協力し、市民の理解を深めた。また、三豊市共同募金委員会として、募金活動及び助成に関わる業務について運営委員・審査委員との協議を行いながら、地域活動への援助を行える体制に努めた。

<一般募金>

(単位:円)

募金方法	目標額(A)	実績額(B)	比較増減(B)－(A)
戸別募金	15,741,000	15,441,700	△299,300
街頭募金	176,000	162,841	△13,159
法人募金	3,290,000	3,119,280	△170,720
学校募金	452,000	449,709	△2,291
職域募金	1,090,000	1,050,500	△39,500
イベント募金	11,000	16,617	5,617
個人募金	40,000	12,000	△28,000
その他の募金	60,000	114,554	54,554
その他募金(自民党寄付今年度限り)		1,662,247	
総合計	20,860,000	22,029,448	1,169,448

<街頭募金>

地 区	実 施 日	実施場所	参加人数
高 瀬	令和6年 10月 8日	マルヨシセンター高瀬店	10
	10月 8日	マルナカ高瀬店	9
山 本	10月 1日	マルナカ山本店	10
三 野	10月 2日	ピカソ三野店	17
豊 中	10月 1日	マルナカ豊中店	8
	10月 5日	ゆめタウン三豊 (キックオフイベント)	28
詫 間	10月 17日	ピカソ浜田店	5
仁 尾	10月 1日	ショッピングストア今川	6
財 田	10月 12日	道の駅たからだの里物産館	15

(延 108)

<審査委員会>

開 催 日	内 容	結 果
令和6年 5月30日	令和7年度事業共同募金地域助成申請に係る審査について 令和7年度共同募金推進計画について	承認 承認
令和7年 2月13日	令和6年度地域助成事業の辞退及び中止、変更について 令和6年度募金結果について 令和7年度事業共同募金地域助成計画(最終)について	報告 報告 承認

<運営委員会>

開催日	内 容	結 果
令和 6 年 6 月 10 日	運営委員の選任について 会長及び副会長の互選について 幹事の選任について 審査委員の選任について 令和 5 年度共同募金収支決算について 令和 7 年度事業共同募金地域助成計画統括表について 令和 7 年度共同募金推進計画について	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
令和 7 年 3 月 25 日	令和 6 年度地域助成事業の辞退及び中止、変更について 令和 6 年度募金結果について 令和 7 年度事業共同募金地域助成計画(最終)について 令和 7 年度三豊市共同募金委員会収支予算について	報告 報告 報告 承認

<会計監査>

開催日	主要付議事項	結 果
令和 6 年 5 月 27 日	令和 5 年度決算監査	認定

<令和 5 年度共同募金(令和 6 年度事業)地域助成事業> (単位:件/円)

助成先 (事業執行者)	事業件数	事 業 名	助成金額
本会	9	居場所づくり推進事業、広報啓発事業、ボランティア活動推進事業、三豊市社会福祉大会開催事業、福祉普及啓発事業、災害対策推進事業、まるみプラン推進事業、地域我が事・丸ごと推進事業、地域活動応援事業	11,372,604
地区社協 自治会等	31	地域安心福祉事業、地域安全安心事業、高齢者交流推進事業、防災減災活動支援事業、高齢者ふれあい会食事業等	3,233,000
福祉団体 ボランティア団体	66	地域の子育て支援応援事業、ろう者困難問題支援事業、異年齢交流、視覚障がい者・児向け点訳支援事業、更生保護推進事業、高齢者健康推進事業、子どもふれあい事業、父母ヶ浜の清掃活動と地域住民の交流事業等	4,141,000
合計	106		18,746,604

※助成申請 109 事業中、3 事業が中止となった。

(3) 子育てボランティアみみちゃん

子育てボランティアみみちゃんは、自分たちにできる育児の手伝いと、本会が取り組む子育て支援事業への協力を目的に設立し活動している。本会が事務局を務め、三豊市内での行政や各種団体からの託児ボランティア派遣要請に対し、連絡調整を行った。

また、年間を通じて知識の習得や会員同士の親睦の機会を持つため研修会等を企画、実施した。託児依頼については、子育て世代のイベントの再開等により託児依頼が増加傾向にある。

<託児活動>

行 事 名	回数	託児ボランティア数	依頼団体
離乳食講習会	5	27	三豊市子育て支援課
ファミサポ行事	10	16	みとよファミリー・サポート・センター
愛育会行事	4	13	三豊市愛育会
計	19	56	

<自主行事>

開 催 日	活動内容	開催場所	参加人数
令和6年 7月 9日	研修会(乳幼児との関わり方) 三豊市子育て支援課 保健師	三野町保健センター	17
9月 30日	研修会(健康体操) 高木 駿氏	豊中町保健センター	15
11月 18日	視察研修 ちぬやキッズ他	三豊市内	13
12月 16日	研修会(多肉寄せ植え) 高木 香氏	豊中町保健センター	10
令和7年 3月 8日	研修会(料理教室) 則久育葉氏	豊中町保健センター	10

(延 65 人)

(4) フードバンク(ものバンク)事業

フードバンク事業は、年間を通して寄付いただいた玄米や食材等を業務用冷蔵冷凍庫、保冷庫及び精米機等を活用しながら、支援を必要とする方に「おもしろネットワーク事業」や「生活困窮者自立支援事業」、「生活福祉資金貸付事業」と調整を図りながら地域で自立した生活を送ることができるよう、47件の相談及び支援を行った。

また、引越し等で生じた家電製品等の寄付により、食材以外の物品支援を必要世帯へ行った。

(5) NPO法人後見ネットかがわへの協力

平成30年度より、活動目的に賛同し、地域の高齢者や障がいのある人・未成年者等の権利擁護推進のため、同法人の受任する後見人等(監督人を含む)の支援を行った。